

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	新ひだか町アイヌ政策推進事業
2 事業の種類	文化振興事業、地域・産業振興事業、コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	今を生きるアイヌの人々が誇りを持って地域で暮らし、先人が繋いでくれた貴重なアイヌの伝統や文化を次世代へと引き継いでいくために、アイヌの人々の参画のもと、人材育成や理解促進に必要な活動を永続的に行っていくことのできる環境を創り出すことを目的とする。
4 事業の概要	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>①アイヌ文化伝承活動支援事業</p> <p>○事業実施主体 新ひだか町</p> <p>○事業の実施場所 新ひだか町内一円</p> <p>○事業実施期間 令和6年4月～令和7年3月</p> <p>○事業の内容と考え方</p> <p>アイヌ文化拠点施設（シャクシャイン記念館、新ひだか町アイヌ民俗資料館、多機能型生活館）来館者の試着用伝統衣服の製作で、製作物は道内の大学や博物館等が新ひだか町から収集した資料の複製品とし、製作予定数6点のうち、令和6年度は2点を製作する。</p> <p>②伝統的なアイヌ文化・生活の再生事業</p> <p>○事業実施主体 新ひだか町</p> <p>○事業の実施場所 新ひだか町内一円</p> <p>○事業実施期間 令和6年4月～令和7年3月</p> <p>○事業の内容と考え方</p> <p>アイヌの伝統的生活空間（イオル）を活用し、次の2事業を実施する。</p> <p>(A) 空間活用事業</p> <p>真歌地区を中心に、新ひだか町で伝承されてきた古式舞踊やアイヌ語の地名などを一般町民に紹介し、アイヌ文化に触れる機会をつくり、アイヌ文化への理解促進を図る。</p> <p>(B) 体験交流事業</p> <p>アイヌ民族の自然と一体となった暮らしや自然に根ざした伝統文化について、児童・生徒及び町民を対象に体験学習を通じて、アイヌ民族の伝統や文化に対する理解を促進し、自然環境の共生と循環社会の創造について学ぶことを目的とし、各種体験交流事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的サケ漁の儀式再現体験 ・アイヌ刺繍講座 ・伝統的アイヌ料理の実習体験 <p>(2) 地域・産業振興事業</p> <p>①アイヌ文化拠点施設内整備事業</p> <p>○事業実施主体 新ひだか町</p> <p>○事業の実施場所 新ひだか町静内真歌</p> <p>○事業実施期間 令和6年4月～令和7年3月</p> <p>○事業の内容と考え方</p> <p>アイヌ文化拠点施設（シャクシャイン記念館、新ひだか町アイヌ民俗資料館、多機能型生活館）の利用促進のため令和6年度は、施設内の展示解説パネルやトイレ外各室・設備等の多言語化を図る。</p>

<p>4 事業の概要</p>	<p>②教育情報発信事業 ○事業実施主体 新ひだか町 ○事業の実施場所 新ひだか町静内真歌 ○事業実施期間 令和6年4月～令和7年3月 ○事業の内容と考え方 アイヌ文化の普及啓発の一環として、アイヌ民俗資料館を会場として企画展を継続的に開催することとし、令和6年度は施設の開館に向けた広報も含めアイヌ文化拠点施設やアイヌ文化を紹介した資料を作成し、来館者用のパンフレットとしても活用する。</p> <p>(3) コミュニティ活動支援事業 ①アイヌ文化拠点空間整備事業 ○事業実施主体 新ひだか町 ○事業の実施場所 新ひだか町静内真歌 ○事業実施期間 令和6年4月～令和7年3月 ○事業の内容と考え方 英傑シャクシャイン像が配置されている真歌エリアに、新ひだか町におけるアイヌ文化の中心として、その周辺をアイヌ文化の拠点空間として整備し、更に当該エリア内において伝統的な踊りや儀式などを披露することのできる環境も併せて整備する。令和6年度はアイヌ文化拠点空間のうち多機能型生活館の建設工事及び必要となる施設の整備等を実施する。 ・多機能型生活館建設工事及び必要となる施設の整備等</p> <p>②アイヌ高齢者コミュニティ活動支援事業 ○事業実施主体 新ひだか町 ○事業の実施場所 新ひだか町内一円 ○事業実施期間 令和6年4月～令和7年3月 ○事業の内容と考え方 アイヌ高齢者の方々が先人から受け継いだ、伝統的な文化や自然と共生する生活の知恵などの豊かな経験を後世に残していくため、座談会の開催や講習会を通して聞き取り等を行い記録を保存する。</p>
<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4-1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業 ■アイヌ文化伝承活動支援事業・・・アイヌの人々による自発的な文化伝承活動（伝統的儀式や古式舞踊等の伝承など）及びアイヌの伝統的衣服の複製品の製作などを支援することにより、当該活動の継続的に実施される状況を作る。</p> <p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業 ■伝統的なアイヌ文化・生活の再生事業・・・アイヌの伝統的生活空間（イオル）を活用したアイヌ語や歴史講座の実施によるアイヌ文化の普及、アイヌの伝統的文化活動を行う際に必要となる樹木や植物の採取を行うとともに、児童・生徒及び町民を対象とした料理教室及びアイヌ刺繍講座の実施などアイヌ文化等の体験交流事業を実施する。</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業 ■アイヌ文化拠点施設内整備事業・・・アイヌ文化拠点施設であるシャクシャイン記念館、新ひだか町アイヌ民俗資料館、多機能型生活館内の展示解説パネルや各室・設備の多言語化を行うとともに、施設の利用促進やアイヌ資料の保存・活用と継承のためのデジタルアーカイブの作成と館内の説明端末の確保及び通信環境などの整備を実施する。</p>

<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>■教育情報発信事業・・・アイヌ文化の情報発信のため、施設及び史跡、地域のアイヌ文化を紹介するパンフレットを制作し、アイヌ文化拠点空間の周知と利用促進を図る。また、アイヌの暮らしや伝統的文化などをテーマとする企画展を開催するための展示用備品や機械設備の整備を行う。</p> <p>4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業</p> <p>■アイヌ文化拠点空間整備事業・・・アイヌ文化の保存・伝承に向けた人材育成活動や人的交流イベントなどの拠点として、シャクシャイン記念館と新ひだか町アイヌ民俗資料館を結ぶ多機能型生活館を建設するとともに、施設周辺の環境を整えアイヌ文化拠点空間全体を整備する。</p> <p>■アイヌ高齢者コミュニティ活動支援事業・・・アイヌ高齢者が先人から受け継いだ、伝統的な文化や自然と共生するための豊かな経験などを後世に受け継いでいくため、座談会等を開催して聞き取りを行い記録を保存する。また、座談会を行う事で高齢者同士の交流の機会を設ける。</p>
<p>6 事業の成果目標等</p>	
<p>(1) 成果目標の達成に向けた工程</p>	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>①アイヌ文化伝承活動支援事業 アイヌの人々による自発的な文化伝承活動の支援を行う事により、儀式などの参加者が増えると考えられる。また、伝統的衣の複製品を製作する事で、来館者に試着体験を促し、アイヌ文化に触れる機会が増えほど効果が高まると考えられる。</p> <p>②伝統的なアイヌ文化・生活の再生事業 アイヌの伝統的生活空間（イオル）再生事業は、幅広い年齢層の方がアイヌの伝統文化を体験し、理解を深める機会として実施して行くことで、普及啓発に繋がり参加人数が増えるほど効果が高まると考えられる。</p> <p>(2) 地域・産業振興事業</p> <p>①アイヌ文化拠点施設内整備事業 アイヌ文化拠点施設内の展示解説パネルや各室・設備の多言語化を図り、より多くの方にアイヌ文化を理解してもらい、施設利用者が増加するほど効果が高まると考えられる。</p> <p>②教育情報発信事業 アイヌ文化の情報発信及びアイヌ文化拠点施設の開館に向けた周知の一環として、施設及び史跡、地域のアイヌ文化を紹介するパンフレットを制作し、利用促進を図り施設利用者が増加するほど効果が高まると考えられる。</p> <p>(3) コミュニティ活動支援事業</p> <p>①アイヌ文化拠点空間整備事業 シャクシャイン記念館と新ひだか町アイヌ民俗資料館を結ぶ生活館機能を持たせた施設として多機能型交流施設を建設し、施設を活用した体験プログラム等を実施する事で町内外からの人の流れを作りだし、施設利用者が増加するほど効果が高まると考えられる。</p> <p>②アイヌ高齢者コミュニティ活動支援事業 アイヌ高齢者が先人から受け継いだ、伝統的な文化や自然と共生するための生活の知恵などの豊かな経験を後世に残していくため、座談会の開催や講</p>

(1)成果目標の達成に向けた工程	習会を行う事で高齢者同士の交流の機会を設ける事になり、参加人数が増加するほど効果が高まると考えられる。																																										
(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>①アイヌ文化の保存又は継承に資する事業</p> <table border="0"> <tr> <td>(現状値) 伝承活動参加人数</td> <td>520人/年間</td> </tr> <tr> <td>伝統的的衣服試着体験参加人数</td> <td>—人/年間</td> </tr> <tr> <td>(中間目標) 伝承活動参加人数</td> <td>750人/年間</td> </tr> <tr> <td>伝統的的衣服試着体験参加人数</td> <td>160人/年間</td> </tr> <tr> <td>(最終目標) 伝承活動参加人数</td> <td>850人/年間</td> </tr> <tr> <td>伝統的的衣服試着体験参加人数</td> <td>200人/年間</td> </tr> </table> <p>②アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業</p> <table border="0"> <tr> <td>(現状値) 体験交流事業の参加人数</td> <td>280人/年間</td> </tr> <tr> <td>(中間目標) 体験交流事業の参加人数</td> <td>285人/年間</td> </tr> <tr> <td>(最終目標) 体験交流事業の参加人数</td> <td>295人/年間</td> </tr> </table> <p>(2) 地域・産業振興事業</p> <p>①観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <table border="0"> <tr> <td>(現状値) アイヌ文化拠点施設利用者数</td> <td>—人/年間</td> </tr> <tr> <td>(中間目標) アイヌ文化拠点施設利用者数</td> <td>4,000人/年間</td> </tr> <tr> <td>(最終目標) アイヌ文化拠点施設利用者数</td> <td>5,000人/年間</td> </tr> </table> <p>(3) コミュニティ活動支援事業</p> <p>①地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業</p> <table border="0"> <tr> <td>(現状値) アイヌ文化拠点施設利用者数</td> <td>—人/年間</td> </tr> <tr> <td>エカシ・フチ事業参加人数</td> <td>—人/年間</td> </tr> <tr> <td>生活館利用者数</td> <td>4,020人/年間</td> </tr> <tr> <td>(中間目標) アイヌ文化拠点施設利用者数</td> <td>4,000人/年間</td> </tr> <tr> <td>エカシ・フチ事業参加人数</td> <td>380人/年間</td> </tr> <tr> <td>生活館利用者数</td> <td>4,040人/年間</td> </tr> <tr> <td>(最終目標) アイヌ文化拠点施設利用者数</td> <td>5,000人/年間</td> </tr> <tr> <td>エカシ・フチ事業参加人数</td> <td>480人/年間</td> </tr> <tr> <td>生活館利用者数</td> <td>4,080人/年間</td> </tr> </table>	(現状値) 伝承活動参加人数	520人/年間	伝統的的衣服試着体験参加人数	—人/年間	(中間目標) 伝承活動参加人数	750人/年間	伝統的的衣服試着体験参加人数	160人/年間	(最終目標) 伝承活動参加人数	850人/年間	伝統的的衣服試着体験参加人数	200人/年間	(現状値) 体験交流事業の参加人数	280人/年間	(中間目標) 体験交流事業の参加人数	285人/年間	(最終目標) 体験交流事業の参加人数	295人/年間	(現状値) アイヌ文化拠点施設利用者数	—人/年間	(中間目標) アイヌ文化拠点施設利用者数	4,000人/年間	(最終目標) アイヌ文化拠点施設利用者数	5,000人/年間	(現状値) アイヌ文化拠点施設利用者数	—人/年間	エカシ・フチ事業参加人数	—人/年間	生活館利用者数	4,020人/年間	(中間目標) アイヌ文化拠点施設利用者数	4,000人/年間	エカシ・フチ事業参加人数	380人/年間	生活館利用者数	4,040人/年間	(最終目標) アイヌ文化拠点施設利用者数	5,000人/年間	エカシ・フチ事業参加人数	480人/年間	生活館利用者数	4,080人/年間
(現状値) 伝承活動参加人数	520人/年間																																										
伝統的的衣服試着体験参加人数	—人/年間																																										
(中間目標) 伝承活動参加人数	750人/年間																																										
伝統的的衣服試着体験参加人数	160人/年間																																										
(最終目標) 伝承活動参加人数	850人/年間																																										
伝統的的衣服試着体験参加人数	200人/年間																																										
(現状値) 体験交流事業の参加人数	280人/年間																																										
(中間目標) 体験交流事業の参加人数	285人/年間																																										
(最終目標) 体験交流事業の参加人数	295人/年間																																										
(現状値) アイヌ文化拠点施設利用者数	—人/年間																																										
(中間目標) アイヌ文化拠点施設利用者数	4,000人/年間																																										
(最終目標) アイヌ文化拠点施設利用者数	5,000人/年間																																										
(現状値) アイヌ文化拠点施設利用者数	—人/年間																																										
エカシ・フチ事業参加人数	—人/年間																																										
生活館利用者数	4,020人/年間																																										
(中間目標) アイヌ文化拠点施設利用者数	4,000人/年間																																										
エカシ・フチ事業参加人数	380人/年間																																										
生活館利用者数	4,040人/年間																																										
(最終目標) アイヌ文化拠点施設利用者数	5,000人/年間																																										
エカシ・フチ事業参加人数	480人/年間																																										
生活館利用者数	4,080人/年間																																										
(3)成果目標の確認方法	伝承活動参加人数、伝統的的衣服試着体験参加人数、体験交流事業の参加人数、アイヌ文化拠点施設利用者数、エカシ・フチ事業参加人数、生活館利用者数にて確認する。																																										
7 地域の概要																																											
(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	<p>新ひだか町では、アイヌ文化伝承者の高齢化や担い手不足により伝承活動の持続が困難な状況にあることや、アイヌ文化が決して町民に普及しているとはいえない状況にあることに鑑み、アイヌの人々が誇りを持って地域で暮らし、貴重な伝統や文化を先の世代へと引き継いでいくための環境や、町民が、アイヌ文化を肌で感じることでできる機会を継続的に作っていくとともに、日常的に、かつ、違和感なくアイヌ文化を受け入れることができるようになるための環境を整備することが急務であるとの認識に立って、令和元年度に「新ひだか町アイヌ施策基本構想」（以下、「基本構想」と略記する。）を、令和2年度</p>																																										

<p>(1) 地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題</p>	<p>に「新ひだか町アイヌ施策アクションプラン」（以下、「アクションプラン」と略記する。）を、それぞれ策定した。</p> <p>基本構想では、新ひだか町特有のアイヌ文化を研究・学習・体感し、次の世代へ引き継ぐ、「（仮称）新ひだかアイヌ・ミュージアム」の創造を目指して、その創造拠点を新ひだか町アイヌ民俗資料館、シャクシャイン記念館、史跡シベチャリ川流域チャシ跡群（国指定）がある静内真歌・入船地区に定め、一帯をアイヌ文化拠点空間と呼称し、アイヌ文化拠点空間の整備による人材育成と交流人口の拡大（必要機能の整理と施設整備）、アイヌ文化拠点空間の運営母体の構築と自立運営に向けたビジネス展開（組織作りとビジネス創造）の2点を施策推進のための重点的な取り組み課題として挙げた。</p> <p>アクションプランでは、重点施策を推進するために、アイヌ文化拠点空間を、アイヌ文化交流拠点ゾーン、シャクシャイン・メモリアルゾーン、伝統的生活空間（イオル）再現・体験ゾーン、チャシ跡の保存管理ゾーンに分け、各ゾーンが一体となってアイヌ文化を魅力的に発信する環境整備を検討するとし、アイヌ文化交流拠点ゾーンの整備を行うこととし、既設のシャクシャイン記念館とアイヌ民俗資料館の改修を行った。今後は、アイヌ文化の伝承プログラムを実施するための活動空間として多機能型生活館を建設し、3館を渡り廊下で繋ぎ一体的に管理運営していくもので、令和7年度からの供用開始を予定している。</p> <p>なお、アイヌ文化拠点空間については、シャクシャイン・メモリアルゾーン、伝統的生活空間（イオル）再現・体験ゾーン、チャシ跡の保存管理ゾーン、それぞれの復旧・環境整備（夾雑物の撤去や樹木の剪定等による修景）と施設整備（ゾーン内外への各種看板類の設置や駐車場整備等）を行い、早期に公開・活用することが課題として残されている。</p> <p>また、アイヌ文化拠点空間では、アイヌ文化伝承者の高齢化や担い手不足が顕著であるものの、アイヌ関係団体主導で文化伝承人材育成事業、体験交流人的交流事業、教育情報発信事業、研究企画事業の各種ソフト事業を行う予定であり、事業を確実に実施するために、「高齢者（エカシ・フチ）のコミュニティ活動支援事業」等を行い文化伝承や人材育成を急ぐことが課題である。</p> <p>さらに、コミュニティ施設（各地区の生活館）についても、アイヌ文化拠点空間同様に、ハード、ソフト両面を整備して、町内におけるアイヌ文化普及啓発の場と機会の増強を図り、町内関係施設間での好循環を生み出すことが課題である。具体的には、新ひだか町博物館・新ひだか町図書館（文化伝承施設）を研究企画事業（アイヌ資料の調査研究、収集、整理、保管、展示公開等）や、教育情報発信事業（アイヌ関係書籍の収集、閲覧、一般貸出し、アイヌ文化学習情報の構築、配布・配信等）を行う、アイヌ文化拠点空間のサテライトスペースとすることや、コミュニティ施設（各地区の生活館）を統廃合により適正配置し、文化伝承人材育成事業や体験交流人的交流事業の地区拠点として活用することである。</p>
<p>(2) 施設等の管理運営体制</p>	<p>シャクシャイン記念館・新ひだか町アイヌ民俗資料館及び新ひだか町博物館・新ひだか町図書館は新ひだか町が管理している。</p>
<p>(3) アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制</p>	<p>町内にあるアイヌ関係団体等と定期的に意見交換を行っている。</p>

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (前年度精算額)	比較増減	
			増	減
国庫補助金	209,284,000	0	209,284,000	
市町村負担額	52,322,000	0	52,322,000	
計	261,606,000	0	261,606,000	0

(2) 支出の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (前年度精算額)	比較増減	
			増	減
文化振興事業 (アイヌ文化伝承活動支援事業)	2,205,000	0	2,205,000	
委託料	560,000	0	560,000	
(伝統的なアイヌ文化・生活の再生事業)				
消耗品費	55,000	0	55,000	
通信運搬費	20,000	0	20,000	
委託料	1,405,000	0	1,405,000	
複写機使用料	165,000	0	165,000	
地域・産業振興事業 (アイヌ文化拠点施設内整備事業)	1,452,000	0	1,452,000	
委託料	957,000	0	957,000	
(教育情報発信事業)				
印刷製本費	495,000	0	495,000	
コミュニティ活動支援事業 (アイヌ文化拠点空間整備事業)	257,949,000	0	257,949,000	
委託料	15,700,000	0	15,700,000	
工事請負費(多機能型生活館建設工事)	234,300,000	0	234,300,000	
備品購入費				
(アイヌ高齢者コミュニティ活動支援事業)				
委託料	7,949,000	0	7,949,000	
計	261,606,000	0	261,606,000	0